

令和 6 年度の祖父江地区の保育について

1. 課題

祖父江地区の乳児保育のニーズの高まりに対応できていない。

⇒年度当初の時点で乳児枠の空きがなくなり、旧稲沢市域等の保育園に通園するケースがある。

2. 対応策

①牧川保育園

- ・専用室（1室）で実施している一時保育（定員5名）及び延長保育について、一時保育を丸甲保育園に移設、また、延長保育は他保育室と共有とし、乳児保育室を1室増。

②祖父江保育園

- ・専用室で実施している延長保育について、他保育室等と共有とし、乳児保育室を1室増。

③丸甲保育園

- ・倉庫として使っている保育室を半分空けて一時保育の部屋に変更。
⇒別の部屋に高御堂中央保育園・大里西保育園の組み立て式プールが保管されているが、令和6年度の使用後に休園中の山崎保育園に搬入、その後、一時保育室の物品をその部屋に搬入し、一時保育室を1室すべて使えるようにする。
- ・3～5歳幼児の混合保育で2室を使用しているが、1室での運用に変更し、それに現在の空き保育室1室を加え、2室を乳児保育室に変更。
- ・0歳児の受入は満1歳からとし、延長保育は8:00～18:00（現在～16:00）とする。